

第28回日本ボッチャ選手権大会 東海・近畿・北陸ブロック予選会
注意事項・大会申し合わせ事項

注意事項

1. 会場使用上の注意

- 1) 飲食は、選手控室および飲食スペース（会場既存の椅子設置エリア）で行うこと。
- 2) アリーナは土足厳禁なので、体育館シューズに履き替えること。
- 3) 会場内はフラッシュを使用した撮影は禁止する。
- 4) 試合映像の撮影については、大会申し合わせ事項を確認すること。
- 5) 会場内で発生したゴミは、各自責任を持って持ち帰り処分すること。
- 6) 試合観戦については、競技コートレベルの選手試合観戦エリアおよび2Fスタンド席を使用すること。

2. メインホール使用時間

※日本選手権予選はメインホール内に設置された競技コートおよびウォームアップコートを使用して実施する。

※なお、メインホール内の競技コートおよびウォームアップコートはスポーツコートを使用する。

※主なスケジュール

6/12（金） 16:30- 選手受付開始（メインホール入口）
17:00-20:00 公式練習・器具検査

6/13（土） 08:30- 開場
09:45 開会式（メインホールにて）
10:45 競技開始
18:45 競技終了

6/14（日） 08:30- 開場
10:00 競技開始
14:30 競技終了
14:45 閉会式（メインホールにて）
15:00 終了・解散

※競技の進行状況などにより時間が変更となる場合があります。

- 1) 6/12（金）の公式練習は、17:00～20:00とする。
※公式練習の時間内に、器具検査を実施する。
- 2) 6/12（金）の受付開始時間は16:30とする。

ゼッケンおよびア krediteーションカード（AD カード）を配布する。大会プログラムの配布は行わない。

- 3) 6/13（土）、6/14（日）の開場時間は8：30とする。
- 4) 会場への出入りは選手出入口を使用すること。
- 5) 6/13（土）、6/14（日）の開場後のウォーミングアップは8：30から実施可能とする。
 - * 6/13（土）は開会式準備および競技運営準備を行うため、開場後のウォーミングアップは8：30から9：20までウォームアップコートにおいてのみ実施可能とする。
 - * 6/14（日）の開場後のウォーミングアップは、第一試合に出場する選手のみ競技コートの使用を許可する。それ以外の選手はウォームアップコートを使用すること。競技コートでのウォーミングアップ時間は8：30から9：30までとする。
 - * コール受付の時間の管理については、選手各自で行うこと。
- 6) 6/12（金）の公式練習後および6/13（土）から6/14（日）の大会終了後は、手際よく後片付けをすませ、速やかに退場すること。

3. 弁当について

- 1) 申し込み後の弁当のキャンセルは不可とする。
- 2) 事前に申し込まれた弁当は、11時より総合受付で配布する。配布時間は11時から14時まで。時間内に必ず取りに来ること。
- 3) 代金の支払いについては、事前入金すること。
- 4) 弁当ガラは、各自でお持ち帰りいただくこととする。

4. 荷物の送付について

- 1) 自宅までの送付を希望する場合は、選手控室内、荷物置き場に送付票の記入をして置くこと。
- 2) 宅配便の伝票は大会受付にあるので、必要な場合は申し出ること。（クロネコヤマト着払いのみ）

5. 駐車場について

- 1) 駐車場については、選手用駐車場を使用すること。
- 2) 乗降場所については、なるべく速やかに乗降を行うこと。（選手の乗降を優先し、荷物等については駐車場への駐車後に運搬するなど配慮すること）
- 3) 乗降場所の出入りについてはスタッフの指示に従うこと。（逆走など危険行為がないように注意すること）
- 4) 安全に注意して譲りあって使用すること。

6. 大会参加者の注意事項

- 1) 主催者において傷害保険には加入しているが、各自、事故やケガの無いように努めること。

2) フィジオルーム（コンディショニングルーム）は、会場図参照のこと。

3) フィジオルーム受付時間

6/13(土)：開会式終了後～最終試合コールルーム開場まで

6/14(日)：8:30～最終試合コールルーム開場まで

4) 貴重品は各自で保管すること。

5) 練習コートの使用については、次に試合のある選手の利用を優先すること。

6) 競技に必要な器具・用具は、試合以外は選手控室で保管すること。

7. 報道関係

1) 報道関係からの依頼がある選手はミックスゾーンでの取材を行う。

2) 公式練習時も公開取材となるため、取材を希望された選手は必ず対応をすること。

3) 撮影した公式写真、映像については、日本ボッチャ協会に帰属するものであり、公式 SNS、ホームページ等で使用するものとする。

8. 試合映像の撮影について

1) 試合映像の撮影および三脚等を使用したカメラ・スマートフォン等の設置については、コーチ席からの撮影およびコーチ席への設置のみ可とする。

2) カメラの設置については各選手の当該試合の間のみ可能とし、カメラ・スマートフォン等の機材を試合時間外に設置し続けることはできない。

3) 2F スタンド席からの撮影および 2F スタンド席への三脚等を使用したカメラ・スマートフォン等の設置は禁止とする。

大会申し合わせ事項

1. 競技規則について

この大会は「日本ボッチャ協会競技規則 2025-2028 v.1.0」並びに大会申し合わせ事項によって実施する。競技規則に記載のない問題が発生した際には、規則 2 ページの記述に基づき、審判長および大会技術委員長が協議し、最終決定を下す。

2. 器具検査について

1) 器具検査は時間を決めて行うことはせず、公式練習を含む大会期間中、審判長、副審判長、審判が必要と判断した場合、適宜行う。

2) 器具検査の対象はランプ、ポインター、グローブ、スプリント、車椅子、コミュニケーション機器などとする。

3) 器具の承認ステッカーは貼付しない。

3. 試合前のボール検査（プレマッチ ボールチェック）について

1) ボール検査はコールルームにおいて、審判、副審判長、審判長が必要と判断した場合、副審判長および審判長が抽出した順に行う。

2) ボール検査は、競技規則の記載に則り実施する。

- 3) ボール検査でジャックボールが不適格となった場合のみ、大会球のジャックボールを貸し出す。

4. 招集について

コールルームは競技開始35分前に開場し、20分前に閉鎖する。選手はコールルームが開場しているうちに受付を完了すること。コールルームには、選手本人およびアクレカード（名札）を受け取ったスポーツアシスタントあるいはランプオペレーターおよび選手1名につき1名のコーチ以外は入ることができない。
大会球の使用を希望する場合は、コールルームにて審判に申告すること。

5. ナンバーカードおよびアクレカード（名札）について

- 1) ナンバーカードは選手の受付時に2枚（BC3クラスはランプオペレーター分含め3枚）渡される。ナンバーカードは、選手は胸か脚（前面）に取り付け、ランプオペレーターは背中に取り付ける（1枚は予備）。
- 2) ナンバーカードおよびアクレカードは、コールルームに入る場面や審判に確認を求められた時には提示すること。ナンバーカードおよびアクレカードがない選手はコールルームで受付ができない。
- 3) 会場にアクセスする際はアクレカードを必ず着用すること。
- 4) 選手、介助者、コーチを含む大会関係者（大会側からアクレディテーションカードを発行された者）以外、競技関係者エリアに入場できない。
- 5) ウォーミングアップ時に選手に帯同できる人数は、選手一人当たり2名までとする。（コーチ 及び スポーツアシスタント／ランプオペレーター）
- 6) コールルーム、競技コートに帯同できる者は、以下の通りとする。
 - * BC1クラス
選手1名につき1コーチ及び1スポーツアシスタント
 - * BC2クラス
選手1名につき1コーチ
 - * BC3クラス
選手1名につき1コーチ及び1ランプオペレーター
 - * BC4クラス
選手1名につき1コーチ（フットプレーヤーのみ1スポーツアシスタント）
- 7) 上記事項について承諾しない選手、コーチは競技関係者エリアへの立入りを禁止する。

6. 競技進行について

競技時間は、原則公表した競技進行によって運営されるが、試合の延長などにより遅延することもある。その場合は掲示板に時間の変更を連絡するので、選手および関係者はよく確認すること。なお、通告のあった内容の未確認によって発生した不手際は、すべて選手の責任となり、いかなる抗議も主催者は受け付けない。また、ルール等に関する問い合わせについては、応じないものとする。

7. 競技方法

- 1) すべて個人戦で、「日本ボッチャ協会競技規則 2025-2028 v.1.0」が提示する障がい区分 BC1、BC2、BC3、BC4 の男女別 8 クラスで実施する。
- 2) 各クラス予選リーグ戦と必要に応じてトーナメント（シーディングマッチ）を実施し、本大会進出者を選出する。予選リーグの順位は、World Boccia 競技マニュアルに則り、①勝ち数、②直接対決、③得失点差、④総得点、⑤総勝ちエンド数で判断する。
- 3) 予選リーグの人数が異なる中で総順位を決めなければならない場合、予選リーグの全ての試合が終了したのちに全てのリーグは最小選手数のリーグが基準となるように、各リーグの最下位の選手の試合結果を削除してリーグ結果は再集計される。
- 4) 試合中のスポーツアシスタントは BC1 クラスおよび BC4 フットプレーヤーにのみ認めるものとする。またランプオペレーターは BC3 クラスの選手のみ認めるものとする。それ以外の競技者については、コールルームおよび競技中にスポーツアシスタント／ランプオペレーターを使用することはできない。
- 5) スポーツアシスタント／ランプオペレーターの手配は事前に行い、アクレカードの申請のないスポーツアシスタント／ランプオペレーターを使用することは認められない。尚、やむをえない事情でスポーツアシスタント／ランプオペレーターを登録者以外の者を使用する場合は、大会総合受付を通じて大会技術委員長に申請すること。
- 6) 残り時間のコールおよびエンド間の時間計測については公用語（英語）で行われる。

8. 閉会式について

- 1) 大会終了後、閉会式を行う。
- 2) 表彰式は行わず、本大会に勝ち上がりの選手の発表を行う。

9. クラス分けについて

- 1) 競技中や練習中等、クラス分け員による競技観察を行う。
- 2) 今年度、新規でクラス分けを受けた選手は、必ずクラス分け委員会から直接判定結果を渡されるまで競技最終日は会場内に留まること。受け取らずに会場を出た場合、郵送等の個別対応は行わない。ただし、特別な事情により判定結果を受け取るまで会場に留まることが困難な場合や、クラス分け委員会で必要と判断された場合には個別対応をする場合がある。その場合は必ず事前にクラス分け委員会に申し出ること。
- 3) クラス判定を受けてからの期間に関わらず、現時点での当該クラスが妥当と判断されない場合、再度判定を行うことがある。その場合、クラス分け委員会から当該選手に別途連絡を行うので、クラス分け委員会の指示に従うこと。
- 4) クラス判定は、BOCCIA CLASSIFICATION RULES 5th Edition October 2021 に準じて判定する。
- 5) 競技観察や再判定等の結果から、対象選手のクラス変更を行う可能性がある。ク

ラス変更後の出場クラスについては、審判長、大会技術委員長ならびにクラス分け委員会による協議の上、判断する。

- 6) 競技中に使用するグローブやベルトなどの競技用補助具について、クラス判定を受けたときに申し出のあった補助具以外は認められない。変更している選手は、6/12（金）の受付時に必ず申し出てクラス分け委員会の判断を仰ぐこと。

10. 日本ボッチャ選手権大会のシード権獲得について

- 1) 各クラスの成績上位者は、日本ボッチャ選手権大会本大会への参加となる。
- 2) 本ブロックの本戦勝ち上がりとなる成績上位者は、以下の通りとなる。

BC1 男子	東海近畿北陸 1	BC1 女子	東海近畿北陸 1
BC2 男子	東海近畿北陸 2	BC2 女子	東海近畿北陸 1
BC3 男子	東海近畿北陸 3	BC3 女子	東海近畿北陸 1
BC4 男子	東海近畿北陸 2	BC4 女子	東海近畿北陸 1

- 3) 成績上位者の日本選手権大会の出場が困難・辞退した場合、以下の措置にて対応する。
 - * 原則、当年度の予選会実施後、出場辞退選手の該当ブロック及び該当クラスの次点選手を補充選手とする。次点選手については該当ブロック予選会の総リザルト、シーディングマッチの順に決定する。
 - * 当年度日本選手権出場申し込み時に出場辞退が発生した場合、大会の欠場として取り扱う。
- 4) 予選会登録者が勝ち上がりの選手数に揃わない場合、本大会は登録選手のみで行う。また、予選会においては登録選手の順位決定のための試合を行い、本大会の試合編成資料とする。
- 5) 選手 1 名のみ登録であるクラスにおいても、当該試合の招集受付を完了すること。

11. アンチ・ドーピングについて

日本ボッチャ選手権本大会については、日本アンチ・ドーピング機構（以下、JADA）により国内最高レベルの競技大会として指定され、ドーピング・コントロール対象大会であり、また、TUE（Therapeutic Use Exemption：治療使用特例）事前申請対象大会となっている。本大会に出場予定選手には、別途「アンチ・ドーピングに関する e ラーニング」の受講とともに使用薬物調査を必須とする。e ラーニングの受講方法や使用薬物調査に関しての具体的な説明は予選会終了後、予選通過者に対し、別途メールにて通知する。

12. 会場レイアウト

■ 1 階レイアウト

